

令和2年度 学校経営方針

丹波市立鴨庄小学校

令和2年度学校経営方針

一人一人が未来の創り手となって、地域に誇りを持ち、自分たちの未来を創ることをめざすため、鴨庄小学校伝統の「元気 根気 やる気」をさらにみなぎらせ、誰もが安心して安全な居場所を感じ、共感・共汗・共歓・共観できる地域とともにある学校づくりに努める。

1 学校教育目標

教育目標 『鴨庄の里で育む 自立と協働』

～自分で考え、働きかける鴨庄っ子の育成～

めざす児童像

- ◆自ら学び、自分で考える子
- ◆人を大切にする子
- ◆地域を愛する子
- ◆心身ともに健やかな子

めざす教師像

- 研修に励み、創意工夫し、変革に挑む教職員
- 確かな専門性と指導力を身につけた教職員
- 豊かな人間性と情熱を持ち、すべての子どもを大切にする教職員
- バランス感覚に優れ、保護者・地域から信頼される教職員

2 令和2年度重点目標

令和2年度からは、改訂された学習指導要領が全面実施となる。プログラミング教育や教科としての外国語も新たに導入される。また ICT 環境の整備も進み、子どもたち一人一人が、より主体的にかかわり、多様な人々の中で、自立する力を身につけさせる必要がある。そのため、教職員が一つのチームとして実態や課題を共有し、安心して過ごせる学校、自信をもって学べる学習環境を創り、予測困難な時代を生き抜く児童を育てる。

- ☆自己肯定感や自己有用感を持った児童
- ☆自他を認める寛容性を持った児童
- ☆失敗してもあきらめない児童
- ☆失敗しても受け入れることができる集団
- ☆自分で決めて、最後まで自分でやる児童

3 具体的方針

(1) 自ら学ぼうとする意欲を育て、子どもの学力を保障する学習環境・指導方法を工夫する

- 失敗してもあきらめない強い心を育み、他人の失敗や間違いを認めて受け容れることのできる集団作りや学級経営に努める。
- 正否に関係なく「自分の考えを持つこと」を重んじ、「失敗」や「間違い」をこそ大切にする学級の文化・雰囲気づくりを進める。
- 教師の支援を受動的に待つのではなく、自分で決めて、最後まで考え抜くことを保障できる、少人数ならではの授業の方法を工夫・実践する。
- ICT 機器を活用して、それらの機器を抵抗なく使う能力を育成するとともに、プログラミング的な思考力を身につけさせ、発達段階に応じた情報活用能力の育成を図る。
- 児童の学力の実態について共通理解し、より効果的で具体的な指導支援の方法を試行錯誤し、基礎基本の学力の向上・定着を図る。
- 読解力の向上を目指し、「読み取る力」「書く力」を伸ばすための取り組みを進める。

(2) 「ともに生きる力」を育む

- 人権尊重の精神をすべての教育活動の根底に据え、年間指導計画に基づいた教育を推進し、人権意識の育成と、多様な人々と共に生きる力を育む。
- 自己有用感や自己肯定感を尊重し、自分も他人も認めて大切にできる寛容性を持った児童の育成に努める。
- 各学年において、「ふるさと学」に取り組むことで、地域の方々の願いや地域づくりの具体的な取組を学ばせ、ふるさと意識と、自らも行動していくキャリアを育成する。
- 人権教育や福祉教育の成果を児童の発表を通じて発信するとともに、保護者・地域の方々に、人権参観日や人権学習への積極的な参加を呼びかける。

(3) 「地域とともにある学校づくり」の推進

- 学校運営協議会組織との連携の下、教職員自身が鴨庄地域についての理解を深める機会を活用し、地域への愛着を高める。
- 小規模を生かす「人づくり」と「地域づくり」の融合をめざし、学校運営協議会とも連携を深め、地域の人材や教育素材を、年間活動計画に基づき積極的・効果的に学習活動に取り入れていく。

(4) 学びに向かう健やかな体と心を育む

- 頭と心の働きを支える「体づくり」の実践や研究を、計画的・系統的に進めていく。